

Mini Mental State Examination (MMSE)

平成 年 月 日

*正解した項目のチェックボックスにチェック。

1. 今日の日付を教えてください。

今日は、 何年、 何月、 何日、 何曜日、ですか？
 今の季節は何ですか？

2. 今あなたがいる場所について教えてください。

ここは、 何県、 何市、 何病院、 何階ですか？、 何地方ですか？(例：中国地方)

3. 「注意深く聞いて下さい。これから3つの言葉を言いますので、少し待ってからその言葉を繰り返してください。その言葉は①カーテン、②ボタン、③天井、です。

(数秒待って「はい、その言葉は何ですか？」；覚えるまでの繰り返し回数(6回まで)

①カーテン ②ボタン ③天井

4. 計算力：「100から7を引いてください。答えが分かったらその数からまた7をひいてそれを、『おしまい』というまで繰り返してください。」

100-7=93
 93-7=86
 86-7=79
 79-7=72
 72-7=65

5. 3品目の想起：「先ほど覚えてもらった3つの名前は何でしたか？」

①カーテン ②ボタン ③天井

6. 命名：「これは何ですか？」鉛筆、腕時計

鉛筆 腕時計

復唱：「これから私が言う言葉を繰り返してください」

覆水盆に戻らず

命令の理解：「これから私がいうとおりにしてください」

「右手でその紙を持ち、」
 「その紙を半分に折り、」
 「それを床に置いて下さい」

読み：カードを見せて、「カードのとおりをして下さい。声を出して読んではいけません」

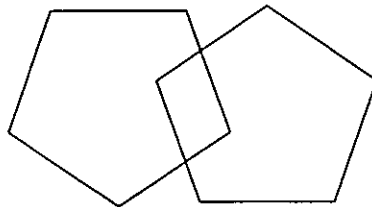
カード記載内容：目を閉じてください

書き：「何か文章を一つ書いて下さい。(患者が反応しない場合は)今日のお天気について文章で書いてください」

(何か文章もしくは今日の天気；)

模写：刺激カードを見せて「これと同じ図形を書いて下さい」

カード記載図



合 計 (各項目各1点)

/30点

「脳血管疾患の再発に対する高脂血症治療薬 HMG-CoA
還元酵素阻害薬の予防効果に関する研究, J-STARS」

倫理委員会承認の報告書

J-STARS データセンター

FAX : 078-303-9117

TEL : 078-303-9114 (月曜～金曜 9:00～17:30、祝日及び年末年始を除く)
先端医療振興財団 臨床研究情報センター 臨床試験運営部内

記入日：200 年 月 日

以下の研究について当施設の倫理委員会の承認が得られたことを報告します。

- 「脳血管疾患の再発に対する高脂血症治療薬 HMG-CoA 還元酵素阻害薬の予防効果に関する研究 (J-STARS)」

承認日：200 年 月 日

- 「高脂血症治療薬 HMG-CoA 還元酵素阻害薬の高感度 CRP 濃度へ及ぼす効果に関する研究 (高感度 CRP サブスタディ)」

承認日：200 年 月 日

- 「高脂血症治療薬 HMG-CoA 還元酵素阻害薬の総頸動脈内中膜複合体厚へ及ぼす効果に関する研究(頸動脈エコーサブスタディ)」

承認日：200 年 月 日

施設情報

施設名 _____

診療科名 _____

施設試験責任医師名 _____

担当者連絡先

氏名 _____

Phone _____

Fax _____

E-mail _____

「脳血管疾患の再発に対する高脂血症治療薬 HMG-CoA
還元酵素阻害薬の予防効果に関する研究, J-STARS」

新規ユーザー登録依頼書

J-STARS データ入力システムにユーザー登録を希望される場合、下記に必要事項を記入し、J-STARS データセンター宛に FAX でお送り下さい。(1ユーザーにつき1枚必要です)

施設登録が完了後ログイン ID およびパスワードを郵送致します。

J-STARS データセンター
FAX : 078-303-9117
TEL : 078-303-9114 (月曜～金曜 9:00～17:30、祝日及び年末年始を除く) 先端医療振興財団 臨床研究情報センター 臨床試験運営部内

記入日：200 年 月 日

施設名	
診療科名	
(ふりがな) 氏名	
役職	
電話番号 (内線)	
FAX 番号	
メールアドレス	
希望ログイン ID	(半角英数字 6～12 文字、ハイフン、ピリオド等の記号は不可)
パスワード	J-STARS データセンターにて発行し、後日変更可能です。
その他、ご要望等	

J-STARS データセンター記入欄

処理日	年 月 日	担当者	
備考			

研究の説明をうける 患者さまへ

「脳血管疾患の再発に対する高脂血症治療薬 HMG-CoA
還元酵素阻害薬の予防効果に関する研究」

医療機関名： _____

目 次

1.	なぜこの研究が行われるのでしょうか？	99
2.	この研究はどのように行われますか？	99
3.	この研究に参加することでどのような恩恵がありますか？	99
4.	この研究に参加することでどのような危険がありますか？	100
5.	ほかの治療法にはどのようなものがありますか？	100
6.	プライバシーは守られますか？	100
7.	この研究に参加する義務はありますか？	100
8.	詳しい研究内容を知ることはできますか？	100
9.	医療費はどのようにになりますか？	100
10.	健康被害が発生した場合の補償はありますか？	101
11.	この研究の資金源は何ですか？	101
12.	この研究で特許等が生み出されることはありますか？	101
13.	質問や問題が生じた場合にはどこに連絡すればいいですか？	101

同意書（担当医師用）

同意書（患者さま用）

同意撤回書

1. なぜこの研究が行われるのでしょうか？

脳血管疾患（脳卒中）は、血圧との関係が強く、コレステロールとの関係は比較的弱いとこれまで考えられていましたが、コレステロールを下げることによって脳卒中をある程度予防できる可能性が最近になって示されました。ただし、予防のためにどの程度のコレステロール値が適切かは未だにはっきりしておりません。そこで今回、コレステロールを下げる薬であるHMG-CoA還元酵素阻害薬（スタチン）が脳卒中の再発予防に有用かどうかを調べるためにこの研究は行われます。

2. この研究はどのように行われますか？

この研究には、脳卒中を経験された方のなかでコレステロールがやや高めの脳卒中患者さん約3000人が参加する予定です。参加される場合、あなたはHMG-CoA還元酵素阻害薬であるプラバスタチン（メバロチンなど）による治療を受ける群（以下：スタチン群）、または、HMG-CoA還元酵素阻害薬以外の治療を受ける群（以下：非スタチン群）のいずれかに振り分けられます。どちらの群になるかはコンピューターで振り分けられ、担当医やあなたが選ぶことはできません。スタチン群に振り分けられた場合には、プラバスタチンを1日に1回飲んでいただくことになります。非スタチン群に振り分けられた場合には、担当医の判断でスタチン以外の治療を受けていただくことになります。スタチン群、非スタチン群のどちらの群になったとしても、今後5年間は月に1度程度来院していただき、脳卒中などの新たな病気の発生の有無や薬の安全性を調べさせていただきます。その為に、半年～1年に1度程度の血液検査や心電図、胸のレントゲン、2年後と5年後には頭部MRIまたはCT、物忘れや日常生活の状態などについての検査を受けていただきます。

（検査スケジュール（予定）については下の表をご覧ください）

	開始時	2週後	2,6ヶ月後	1,3,4,5年後	2年後, 研究終了時
血液検査、血圧・脈拍	○	☆	○	○	○
頭部MRI/CT	○				○
物忘れ、日常生活の状態	○				○
胸部レントゲン、心電図	○			○	○
尿検査	○				○

☆：プラバスタチンを飲む群（スタチン群）の方のみ

3. この研究に参加することでどのような恩恵がありますか？

脳卒中の再発を防ぐうえで、プラバスタチンを飲むことがよいかどうかははっきりしていません。かえって害のある可能性もあります。私たちは研究期間を通じてスタチン群、非スタチン群、両群全ての方の健康状態を注意深く見守り、新たな病気の発生や薬の安全性を監視します。同時に、この研究や他の研究を通して得られた、健康に関する新たな情報を提供致します。そのため、スタチン群、非スタチン群のどちらになった場合で

も、この研究に参加しない場合と少なくとも同等の恩恵を受けられると私たちは考えています。また、この研究から得られた結果は、将来あなたと同じ病気で苦しんでおられる多くの方々の治療にも活かされます。私たちは、この研究が脳卒中の再発予防に新たな治療指針をもたらすことを期待しています。

4. この研究に参加することでどのような危険がありますか？

プラスタチンはわが国でも大変多くの患者さんが服用している薬であり、重大な副作用が少ない薬です。ただし、これまでの経験により約3%の方に発疹や下痢、胃不快感などの副作用が報告されています。また、横紋筋融解症、肝障害、黄疸、血小板減少などの重大な副作用の報告がまれにありますが、その頻度は明らかではありません。ちなみに、海外の研究では、この薬による横紋筋融解症は9895例中1例もありませんでした。万一、副作用が生じた際には適切に処置し、重度のものが生じた場合には薬を中止して適切な処置を講じます。

5. 他の治療法にはどのようなものがありますか？

脳梗塞の再発予防に有効な手段として、高血圧や糖尿病の治療、抗血小板薬の服用、頸動脈内膜剥離術などがあげられます。担当医が必要と判断したときは、研究中であっても、スタチン群、非スタチン群ともにそれらの治療を受けることができます。

6. プライバシーは守られますか？

この研究に関する情報はカルテに記録され、その一部は臨床研究情報センターのコンピューターに記録されます。また、あなたであることを特定できないようにした上で、研究成果を学会や医学雑誌などに報告する場合があります。しかし、いずれの場合にもあなたのプライバシーは厳重に保護され、個人的な情報が外部に漏れる心配はありません。

7. この研究に参加する義務はありますか？

この研究へ参加するかどうかはあなたの自由であり、参加しない場合にも不利益を受けることはありません。また、参加に同意された場合でも、不利益を受けることなくそれを取り消すことができます。しかし、研究の途中で参加を取り消す場合にはそれを担当医に伝えて下さい。

8. 詳しい研究内容を知ることはできますか？

ご希望があれば、他の患者さんのプライバシーやこの研究の独創性に支障がない範囲で研究の実施計画書などをお見せします。

9. 医療費はどのようになりますか？

この研究は製薬会社が費用を負担する「治験」ではなく、脳卒中の制圧を心より願う私たち医師が、健康保険の範囲内で行うものです。また、行われる全ての検査は通常の脳卒中診療に必要なものと考えられます。従って、この研究に参加していただいた場合にも特別な謝礼は無く、医療費は通常どおりの保険診療によるご負担になります。

10. 健康被害が発生した場合の補償はありますか？

この研究で使われる薬は既に市販され、通常の診療で広く使われているものです。従って、定められた量を指示どおり服用したにもかかわらず、重篤な健康被害が発生した場合には「医薬品副作用被害救済制度」による補償があります。ただし、その補償内容は必ずしも十分とは言えないのが実情です。

11. この研究の資金源は何ですか？

この研究は厚生労働省の助成金で行われ、一部に先端医療振興財団の支援を受けて行われます。研究の結果に関わらず、それが厚生労働省や先端医療振興財団に何ら利益や損害を与えることはありません。

12. この研究で特許等が生み出されることはありますか？

この研究は薬剤の適応拡大を目的とするものではなく、従って、研究成果によって特許等が生み出されることはありません。

13. 質問や問題が生じた場合にはどこに連絡すればいいですか？

下記の担当医または主任研究者までご連絡下さい。

病院名： _____ 診療科： _____
担当医： _____ 電話番号（内線）： _____

主任研究者： 広島大学大学院脳神経内科教授 松本昌泰

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 電話番号：082-257-5201

同意書（担当医師用）

病院 病院長殿

私は「脳血管疾患の再発に対する高脂血症治療薬 HMG-CoA 還元酵素阻害薬の予防効果に関する研究」において、下記の項目について担当医より説明を受け、理解いたしました。

そこで、今回、この研究に参加することに同意し、それぞれの治療群に振り分けられることに同意いたします。

記

1. 研究の目的と方法
2. 研究に参加することの恩恵と危険性
3. 私が同意しない場合であっても、不利益は受けないこと
4. 私が同意した場合でも、不利益なくそれを撤回できること
5. その他、人権の保護に関する事項
6. 医療費について

同意年月日 平成 年 月 日

本人： 住所

氏名 _____ 印（又は自署名）

生年月日 _____ 年 月 日生

同意書（患者さま用）

病院 病院長殿

私は「脳血管疾患の再発に対する高脂血症治療薬 HMG-CoA 還元酵素阻害薬の予防効果に関する研究」において、下記の項目について担当医より説明を受け、理解いたしました。

そこで、今回、この研究に参加することに同意し、それぞれの治療群に振り分けられることに同意いたします。

記

1. 研究の目的と方法
2. 研究に参加することの恩恵と危険性
3. 私が同意しない場合であっても、不利益は受けないこと
4. 私が同意した場合でも、不利益なくそれを撤回できること
5. その他、人権の保護に関する事項
6. 医療費について

同意年月日 平成 年 月 日

本人： 住所

氏名 _____ 印（又は自署名）

生年月日 _____ 年 月 日生

同意撤回書

病院 病院長殿

私は「脳血管疾患の再発に対する高脂血症治療薬 HMG-CoA 還元酵素阻害薬の予防効果に関する研究」へ参加することに同意しましたが、同意を撤回します。

同意撤回年月日 平成 年 月 日

本人： 住所

氏名 _____ 印（又は自署名）

生年月日 _____ 年 月 日生

臨床試験の説明をうけられる 患者さまへ

「脳血管疾患の再発に対する高脂血症治療薬 HMG-CoA 還元酵素阻害薬の
予防効果に関する研究」

サブスタディ

「高脂血症治療薬 HMG-CoA 還元酵素阻害薬の高感度 CRP 濃度へ及ぼす
効果に関する研究」

「高脂血症治療薬 HMG-CoA 還元酵素阻害薬の総頸動脈内中膜複合体厚へ
及ぼす効果に関する研究」

医療機関名： _____

目次

1.	なぜこれらの研究が行われるのでしょうか？	107
2.	これらの研究はどのように行われますか？	107
3.	これらの研究に参加することでどのような恩恵がありますか？	108
4.	これらの研究に参加することでどのような危険がありますか？	108
5.	ほかの治療法にはどのようなものがありますか？	108
6.	プライバシーは守られますか？	108
7.	この研究に参加する義務はありますか？	108
8.	詳しい研究内容を知ることは出来ますか？	108
9.	医療費はどのようにになりますか？	109
10.	健康被害が発生した場合の補償はありますか？	109
11.	この研究の資金源は何ですか？	109
12.	この研究で特許等が生み出されることはありますか？	109
13.	質問や問題が生じた場合にはどこに連絡すればいいですか？	109

同意書（担当医用）

同意書（患者さま用）

同意撤回書

1. なぜこれらの研究が行われるのでしょうか？

脳血管疾患（脳卒中）は血圧との関係が強く、コレステロールとの関係は比較的弱いとこれまで考えられていましたが、コレステロールを下げることで脳卒中をある程度予防できる可能性が最近になって示されました。ただし、予防のためにどの程度のコレステロール値が適切かは未だにはっきりしておりません。一方、海外での研究では、体内の炎症活動の程度や動脈硬化の程度が脳卒中の危険性を反映することが報告されていますが、それが日本人にもあてはまるかどうか明らかではありません。そこで今回、コレステロールを下げる薬であるHMG-CoA還元酵素阻害薬（スタチン）が脳卒中の再発予防に役立つかどうか、同時に、炎症活動や動脈硬化の進展を抑える効果があるかを調べるためにこれらの研究が行われます。

2. これらの研究はどのように行われますか？

これらの研究には、脳卒中を経験された方のなかでコレステロールがやや高めの方の患者さん約3000人が参加する予定です。参加される場合、あなたはHMG-CoA還元酵素阻害薬であるプラバスタチン（メバロチンなど）による治療を受ける群（以下：スタチン群）、または、HMG-CoA還元酵素阻害薬以外の治療を受ける群（以下：非スタチン群）のいずれかに振り分けられます。どちらの群になるかはコンピューターで決められ、担当医やあなたが選ぶことはできません。スタチン群に振り分けられた場合にはプラバスタチンを1日に1回飲んでいただくことになり、非スタチン群に振り分けられた場合には担当医の判断でそれ以外の治療を受けていただくこととなります。

スタチン群、非スタチン群のどちらの群になったとしても、今後5年間は月に1度程度来院していただき、脳卒中などの新たな病気の発生の有無や薬の安全性を調べさせていただきます。その為に、半年～1年に1度の血液検査や心電図、胸のレントゲン、2年後と終了時は頭部MRIまたはCT、物忘れや日常生活の状態などについての検査を受けていただくこととなります。また、炎症活動の程度と動脈硬化を調べるために、高感度CRP濃度を定期的な採血項目に追加させていただきます。年に一度頸動脈エコー検査を受けていただきます。非スタチン群の患者様につきましても検査の時期は同様です。

（詳しい検査日程については次の表をご覧ください）

	開始時	2週後	2,6ヶ月後	1,3,4,5年後	2年後 終了時
血液検査、血圧・脈拍	○	☆	○	○	○
頭部MRI/CT	○				○
物忘れ、日常生活の状態	○				○
胸部レントゲン、心電図	○			○	○
尿検査	○				○
高感度CRP	○		○		○
頸動脈エコー	○			○	○

☆：プラバスタチンを服用する群（スタチン群）の方のみ

3. これらの研究に参加することでどのような恩恵がありますか？

脳卒中の再発を防ぐうえで、プラバスタチンを飲むことがよいかどうかははっきりしていません。かえって他の薬と同様に副作用の心配もあります。私たちは研究期間を通じてスタチン群、非スタチン群、両群全ての方の健康状態を注意深く見守り、新たな病気の発生や薬の安全性を監視します。同時に、この研究や他の研究を通して得られた、健康に関する新たな情報を提供致します。高感度CRP検査および頸動脈エコー検査は、その結果をあなた自身にお知らせすることができます。また、私たちは研究期間中、この研究や他の研究を通して得られたあなたの健康に関する新たな情報を提供します。そのため、スタチン群、非スタチン群のどちらになった場合でも、この研究に参加しない場合と少なくとも同等の恩恵を受けられると私たちは考えています。また、この研究から得られた結果は、将来あなたと同じ病気で苦しんでおられる多くの方々の治療にも活かされます。私たちは、この研究が脳卒中の再発予防に新たな治療指針をもたらすことを期待しています。

4. これらの研究に参加することでどのような危険がありますか？

プラバスタチンはわが国でも大変多くの患者さんが服用している薬であり、重大な副作用が少ない薬です。ただし、これまでの経験により約3%の方に発疹や下痢、胃不快感などの副作用が報告されています。また、横紋筋融解症、肝障害、黄疸、血小板減少などの重大な副作用の報告がまれにあります。その頻度は明らかではありません。ちなみに、海外の研究では、この薬による横紋筋融解症は9895例中1例もありませんでした。万一、副作用が生じた際には適切に処置し、重度のものが生じた場合には薬を中止して適切な処置を講じます。高感度CRP濃度の測定は、定期的な血液検査項目に追加するだけです。採血回数が無くなることもなく、危険性はありません。また、頸動脈エコーの超音波検査は非侵襲的検査であり、危険性はありません。

5. 他の治療法にはどんなものがありますか？

脳梗塞の再発予防に有効な手段として、高血圧や糖尿病の治療、抗血小板薬の服用、頸動脈内膜剥離術などがあげられます。担当医が必要と判断したときは、研究中であっても、スタチン群、非スタチン群ともにそれらの治療を受けることができます。

6. プライバシーは守られますか？

この研究に関する情報はカルテに記録され、その一部は臨床研究情報センターのコンピューターに記録されます。また、あなたであることを特定できないようにした上で、研究成果を学会や医学雑誌などに報告する場合があります。しかし、いずれの場合にもあなたのプライバシーは厳重に保護され、個人的な情報が外部に漏れる心配はありません。

7. この研究に参加する義務はありますか？

この研究へ参加するかどうかはあなたの自由であり、参加しない場合にも不利益を受けることはありません。また、参加に同意された場合でも、不利益を受けることなくそれを取り消すことができます。しかし、研究の途中で参加を取り消す場合にはそれを担当医に伝えて下さい。

8. 詳しい研究内容を知ることができますか？

ご希望があれば、他の患者さんのプライバシーやこの研究の独創性に支障がない範囲で研究の実施計画書などをお見せします。

9. 医療費はどのようにになりますか？

この研究は製薬会社が費用を負担する「治験」ではなく、脳卒中の制圧を心より願う私たち医師が、健康保険の範囲内で行うものです。また、頸動脈超音波検査を含め、行われる全ての検査は通常の脳卒中診療に必要なものと考えられます。従って、この研究に参加していただいた場合にも特別な謝礼は無く、医療費は通常どおり保険診療によるご負担になります。ただし、高感度 CRP 濃度の測定に必要な費用は研究費から支出されますので、患者様のご負担はありません。

10. 健康被害が発生した場合の補償はありますか？

この研究で使われる薬は既に市販され、通常の診療で広く使われているものです。従って、定められた量を指示どおり服用したにもかかわらず、重篤な健康被害が発生した場合には「医薬品副作用被害救済制度」による補償があります。ただし、その補償内容は必ずしも十分とは言えないのが実情です。

11. この研究の資金源は何ですか？

この研究は厚生労働省の助成金で行われ、一部に先端医療振興財団の支援を受けて行われます。研究の結果に関わらず、それが厚生労働省や先端医療振興財団に何ら利益や損害を与えることはありません。

12. この研究で特許等が生み出されることはありますか？

この研究は薬剤の適応拡大を目的とするものではなく、従って、研究成果によって特許等が生み出されることはありません。

13. 質問や問題が生じた場合にはどこに連絡すればいいですか？

下記の担当医または主任研究者までご連絡下さい。

病院名： _____ 診療科： _____
担当医： _____ 電話番号（内線）： _____

主任研究者： 広島大学大学院脳神経内科教授 松本昌泰

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 電話番号：082-257-5201

同意書 (担当医用)

病院 病院長殿

平成 年 月 日

(説明者)

所属

氏名 _____

- 1) 脳血管疾患の再発に対する高脂血症治療薬 HMG-CoA 還元酵素阻害薬の予防効果に関する研究
- 2) 高脂血症治療薬 HMG-CoA 還元酵素阻害薬の総頸動脈内中膜複合体厚へ及ぼす効果に関する研究
- 3) 高脂血症治療薬 HMG-CoA 還元酵素阻害薬の高感度 CRP 濃度へ及ぼす効果に関する研究

同意される研究のチェックボックスすべてにチェックをつけてください。

私は上記の研究において下記の項目について担当医より説明を受け、理解いたしました。そこで、今回、これらの研究に参加することに同意します。

記

1. 研究の目的と方法
2. 研究に参加することの恩恵と危険性
3. 私が同意しない場合であっても、不利益は受けないこと
4. 私が同意した場合でも、不利益なくそれを撤回できること
5. その他、人権の保護に関する事項
6. 医療費等について

同意年月日 平成 年 月 日

本人： 住所

氏名 _____ 印 (又は自署名)

生年月日 _____ 年 月 日

同意書 (患者さま用)

病院 病院長殿

平成 年 月 日

(説明者)

所属

氏名 _____

- 1) 脳血管疾患の再発に対する高脂血症治療薬HMG-CoA還元酵素阻害薬の予防効果に関する研究
- 2) 高脂血症治療薬HMG-CoA還元酵素阻害薬の総頸動脈内中膜複合体厚へ及ぼす効果に関する研究
- 3) 高脂血症治療薬HMG-CoA還元酵素阻害薬の高感度CRP濃度へ及ぼす効果に関する研究

同意される研究のチェックボックスすべてにチェックをつけてください。

私は上記の研究において下記の項目について担当医より説明を受け、理解いたしました。そこで、今回、これらの研究に参加することに同意します。

記

1. 研究の目的と方法
2. 研究に参加することの恩恵と危険性
3. 私が同意しない場合であっても、不利益は受けないこと
4. 私が同意した場合でも、不利益なくそれを撤回できること
5. その他、人権の保護に関する事項
6. 医療費等について

同意年月日 平成 年 月 日

本人： 住所

氏名 _____ 印 (又は自署名)

生年月日 _____ 年 月 日

同意撤回書

病院 病院長殿

- 1) 脳血管疾患の再発に対する高脂血症治療薬 HMG-CoA 還元酵素阻害薬の予防効果に関する研究
- 2) 高脂血症治療薬 HMG-CoA 還元酵素阻害薬の総頸動脈内中膜複合体厚へ及ぼす効果に関する研究
- 3) 高脂血症治療薬 HMG-CoA 還元酵素阻害薬の高感度 CRP 濃度へ及ぼす効果に関する研究

該当する研究のチェックボックスすべてにチェックをしてください。

私は上記の研究への参加に同意しましたが、同意を撤回します。

同意撤回年月日 平成 年 月 日

本人： 住所

氏名 _____ 印（又は自署名）

生年月日 _____ 年 月 日生

脂質の国際標準化へのご案内

2003年8月23日

大阪府立健康科学センター 脂質基準分析室(CRMLN)

1. トレーサビリティ(Traceability: 追跡可能性) トレーサビリティとは、「測定体系の上で、より高い正確さに、下位から次々と合わせる」と定義される。標準化とは、トレーサビリティを実行することである。

一次標準(絶対基準分析法)・・・ID/GC/MS(質量分析計、世界標準=NIST)

↑

二次標準(実用基準分析法)・・・Abell-Kendall法(世界標準=CDC、CRMLN)

↑

日常分析法(酵素法)

2. 標準化と精度管理調査(サーベイ)の比較

比較項目	標準化(Standardization)	精度管理調査(サーベイ)
基準分析法(目標値)	あり(正確さの基準値)	なし(参加者の合意値)
標準物質	あり	なし
標準化プログラム	あり	なし
試料	新鮮血清	製造血清
解析ソフト	あり	なし
判定基準	あり	なし
対象項目	リスクファクター、限定的	全般的、多項目

3. 申し込み方法 FAXでお申し込み下さい。申し込み用紙は、健康科学センターのホームページ(<http://www.kenkoukagaku.jp>)の中の標準化プログラムにあります。

4. 標準化対象項目と目標値を設定する基準分析法

総コレステロール	Phase-1	Abell-Kendall法
HDL コレステロール	Phase-2	比較対照法 (CRMLN)
LDL コレステロール	Phase-2	Beta Quantification法

5. 標準化に用いる試料(血清)

総コレステロール	Phase-1	6濃度、 <u>日常分析室</u> で準備、6ヶ月に1回、2重測定で3日間測定、凍結血清
HDL コレステロール	Phase-2	6濃度、基準分析室で準備、1年に1回、4重測定を1日で測定、非凍結血清
LDL コレステロール	Phase-2	6濃度、基準分析室で準備、1年に1回、4重測定を1日で測定、非凍結血清